

まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.67 令和元年10月2日発行

歴まち計画認定都市の事例紹介

かんらまち
～群馬県甘楽町～

今回の瓦版では、歴史的風致維持向上計画認定都市である群馬県甘楽町の取組内容について紹介します。

◆甘楽町の概要

甘楽町は群馬県の南西部に位置する、人口約13,000人の町です。

町の中心部に雄川^{おがわ}、西部に下川^{くだがわ}、東部に天引川^{あまびきがわ}が流れ、それぞれ北部で鐺川^{かぶらがわ}に注いでいます。山間部・丘陵部・平坦部と変化に富んだ地形をしており、そば、路地・ハウス栽培、こんにゃく芋、米などの生産が盛んです。

城下町の面影や明治期の養蚕農家の町並みが残されており、農業資源や歴史資源を活かし、年間94万人の交流人口があります。

2010年3月に歴まち計画の認定を受けました（16番目の認定都市）。

◆歴史的風致の維持及び向上に関する方針

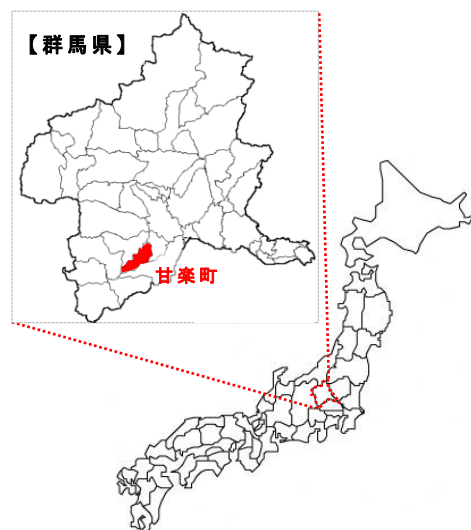
甘楽町では下記の5つの歴史的風致を設定し、維持及び向上に関する取組がされております。

- (1) 雄川堰とそれまつわる歴史的風致
- (2) 小幡八幡宮例大祭に見る歴史的風致
- (3) こんにゃくの生産に関わる歴史的風致
- (4) ちいじがき集落における歴史的風致
- (5) 瓦製造に関わる歴史的風致

今回の瓦版では、主に「(1) 雄川堰とそれまつわる歴史的風致」について紹介していきます。

なお、計画についての詳細は、甘楽町のHP

(<http://www.town.kanra.gunma.jp/sansin/tosikei/cityplan/02.html>) をご参照ください。



📌歴史的風致維持向上計画（歴まち計画）

歴史上価値の高い建造物・その周辺のまちなみと、歴史と伝統を反映した人々の営み、生活、活動が一体となった「歴史的風致」を後世に継承するため、2008年に「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（以下、歴まち法）」が制定されました。

「歴まち法」では、国指定・選定文化財を中心とする歴史的風致の維持及び向上について市町村が作成した歴史的風致維持向上計画（以下「歴まち計画」）を国（文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣）が認定し、取組みを支援する仕組みとなっています。2019年9月現在、計画の認定都市数は78都市となっています。

ちなみに、福島県では白河市（2011年2月）、国見町（2015年2月）、磐梯町（2016年1月）、桑折町（2016年3月）の4都市が認定を受けております。

◆名勝 楽山園

江戸時代初期に織田信長の次男信雄^{のぶかつ}によって造られた小幡藩邸の庭園です。池泉回遊式^{せんかいゆうしき}の借景庭園で、「戦国武将庭園」から「大名庭園」へと移行する過渡期の庭園と位置付けられ、京都の桂離宮^{かつらぎゅう}と同じ特色があります。

景石の置かれた池を中心として、「中島」^{なかのしま}や「築山」を築いて起伏のある地形を造りだし、「梅の茶屋」や全国的にも珍しい五角形の形状をした「腰掛茶屋」など複数の茶屋を配し、それらを巡る園路にも工夫を凝らしています。借景庭園としても秀逸で、庭園の西側にある雄川を挟んで紅葉山、南方の連石山、熊倉山などの山並を借景として取り込み、豊かな広がり演出しています。複数の茶屋を配していることから、「織田氏と茶事」との関連も深くうかがうことができ、歴史的・文化的にも高い価値がある庭園です。群馬県内に唯一存在する大名庭園で、国の名勝に指定されています。



📷 上の写真は、ビューポイントの一つである「拝石」^{おがみいし}から撮影したものです。庭園の景色と周囲に連なる山々の眺めを楽しむことができます。

同じくビューポイントとなっている腰掛茶屋と梅の茶屋には実際にあがることもでき、そこから眺める楽山園も見事です。



📍 池泉回遊式庭園

大きな池を中心に配し、その周りに築山や茶屋を配するとともに、周辺の山々を借景にもつ形式で、園内を回遊して観賞する庭園。

昆明池の取水は雄川堰一番口から小堰をめぐり、江戸時代と変わらぬ流路で流れ込みます。

📍 歴まちカード

歴まち認定都市の象徴的な風景写真や歴史まちづくり情報を紹介したカード型パンフレットです。現在、関東地方、中部地方、近畿地方の認定都市の指定スポットにて配布しております。甘楽町の歴まちカードには、楽山園について記載されております。



おがわぜき
◆雄川堰

小幡のまち中を流れる雄川堰は、一級河川雄川から引き込んだ用水の中軸となる「大堰」と、この大堰から取水し陣屋内に廻らされた「小堰」からなっています。上流より一番口、二番口、三番口と呼ばれる3箇所の取水口が設けられており、武家屋敷地区を流れる小堰に分流しています。



▲大堰は古くから住民の生活用水、非常用水、下流の水田の灌漑用水として利用されてきました。現在も農作物の食材洗い場等として日常的に利用されています。

調査の結果、石積が崩れている箇所が複数確認されたため、歴まち計画に基づき、改修が行われました。



▲地区内を流れる大堰



▲地区内を流れる小堰

【一番口】（上図 赤線部）

一升枀の大きさで、名勝楽山園や武家屋敷地区の南側を巡る小堰。雄川堰引込口から約1,460m下流の所にあり、小堰の総延長は約2,180m。



【二番口】（上図 青線部）

五合枀の大きさで、武家屋敷地区の中央を巡る小堰。一番口から約180m下流にあり、小堰の総延長は約990m。



【三番口】（上図 緑線部）

三合枀の大きさで、武家屋敷地区の北側を巡る小堰。二番口から約190m下流にあり、小堰の総延長は約1,880m。



それぞれの取水口は、現地にひっそりと佇んでおり、見つけるには注意が必要でした。現地には右のような案内板が設置されており、探す際の目印になっております。



◆武家屋敷地区【喰い違い郭^{くるわ}】

武家屋敷地区にある喰い違い郭は、戦の時の防衛上のために造られたとも、下級武士が上級武士に出会うのを避けるために隠れたとも言われており、江戸時代の武士の生活環境とこの地域の歴史を知る上で極めて重要な資源となっております。

石垣は、20×30cm程度の石を矢羽積とし、石垣最上段を30cm×50cm前後の大きな石で押さえています。石材は一級河川雄川の緑色片岩が用いられています。

喰い違い郭の石積は、歴まち計画に基づいて修繕が行われ、所有者の理解を得て一般公開されております。



◆武家屋敷地区【旧小幡藩武家屋敷 松浦氏屋敷】

武家屋敷地区にある松浦家は、武家の屋敷構えを良好に残し、雄川堰の地割と一体となっております。

建築調査や発掘調査に基づいて、主屋・庭園等の保存修理及び耐震改修を行い、所有者の理解を得て一般公開されております。

敷地内にある園池には、一番口から分流した小堰の水が注がれています。



▲敷地内の庭園



▲屋敷内から見た庭園



▲改修された松浦氏屋敷外観

◆町屋地区【信州屋】

明治38年に呉服店・質屋として創業。以降、雑貨等を扱い、昭和期には養蚕も兼業で営んでいました。所有者から町へ寄付を受け、木格子等により耐震補強を行いました。建具や備付物にはあまり手を加えず、既存部分を活かしながら改修が行われました。

現在は、無料休憩・観光案内所やカフェとしても利用されております。



▲改修された信州屋外観



▲2階は多目的室となっております

編集後記

今回の瓦版では、歴まち計画認定都市である群馬県甘楽町について紹介しました。名勝楽山園をはじめ、武家屋敷地区、町屋地区において歴史的なまちづくりに配慮した様々な取組がされており、訪れると非日常を味わうことができます。また、地区内に生活用水を巡らせるために整備された雄川堰は、自然地形を利用して流水勾配を確保しなければならず、緻密な設計が必要であったと思われ、当時の測量・土木技術の高さに驚嘆しました。

甘楽町では、毎年桜の時期に鎧・甲冑を身につけた馬上の大将とそれに続く織田隊が町を歩く「城下町小幡さくらまつり『武者行列』」が行われるので、その時期に訪れてみるのも良いと思います。

<参考資料>：甘楽町歴史的風致維持向上計画、甘楽町HP、楽山園パンフレット、雄川堰パンフレット

TOPICS

お知らせ

令和元年度地域づくり交流会を開催します

県内各地域で地域づくりに取り組む住民組織や市町村・県の職員等が地域づくりを学び、取組みのアイデア等を考え、今後の地域づくりに活かすための意見交換、交流の場を用意しました。今年度は県内3方部で開催します。

是非ご参加下さい!!

※申込み方法等の詳細は、次頁以降のチラシをご覧ください。

○開催日時及び場所

【浜通り】令和元年10月19日(土) 13:30~17:00(開場13:00)
福島県小名浜港湾建設事務所

【中通り】令和元年10月25日(金) 13:30~17:00(開場13:00)
福島市土湯温泉まちおこしセンター『湯楽座』

【会津地方】令和元年10月31日(木) 13:30~17:00(開場13:00)
三島町交流センター『山びこ』

土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、下記により登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ (<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>) からご覧いただけます。

メールマガジン(無料)の配信をご希望される方

【土木部メルマガ希望または、解除】



をお書きのうえ下記アドレスまでメール送信して下さい。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課(システム担当) 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511

FAX 024-521-7956

e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>

入場
無料

地域づくり交流会（浜通り）



県内各地域で地域づくりに取り組む住民組織や市町村・県の職員等が課題を話し合い、取り組みのアイデア等を考え、今後の地域づくりに活かすために、参加相互の意見交換、交流を行います。

日時：令和元年10月19日（土）13:30～17:00（開場13:00）

場所：福島県小名浜港湾建設事務所
（福島県いわき市小名浜字辰巳町68番地）

プログラム

■ 第1部 事例発表会（13:35～14:35）

①『これからの小名浜へ』

中井 靖司氏（株式会社まちもりシオカゼ プロデューサー）

②『常磐地区のいままでとこれから』

渡辺 大輔氏（じょうばん街工房21 事務局長）

③『地域づくり活動支援制度について』

鈴木 貴史氏（福島県まちづくり区画整理協会 企画課長）

■ 第2部 情報交換会（14:35～16:00）

■ 第2部終了後 現場見学会（16:30～17:00）

※プログラムは変更になる場合がございます

参加申込書

申込締切：令和元年10月11日（金）

氏名	所属団体	連絡先	
		電話番号	メールアドレス

※ 上記、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、ファックス又はEメールで送付願います。

※ 個人情報は、当交流会の運営のために使用し、その他の用途には使用しません。

主催 福島県

共催 公益財団法人 福島県まちづくり区画整理協会

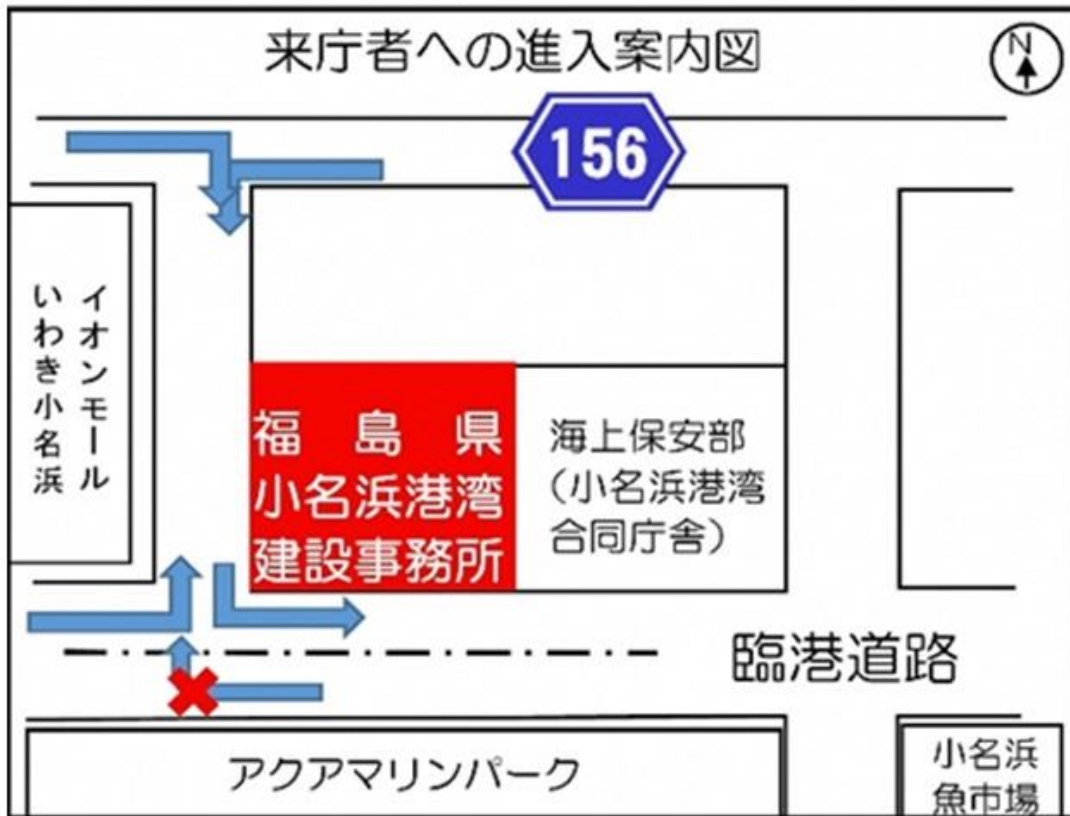
申込先・お問合わせ先 福島県土木部まちづくり推進課 岡部

TEL 024-521-7511 FAX 024-521-7956

Eメール machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

交流会会場

場所：福島県小名浜港湾建設事務所
(福島県いわき市小名浜字辰巳町68番地)



車でお越しの方は、福島県小名浜港湾建設事務所駐車場をご利用願います。
(他の施設の駐車場利用はご遠慮願います)

入場
無料

地域づくり交流会（中通り）



県内各地域で地域づくりに取り組む住民組織や市町村・県の職員等が課題を話し合い、取り組みのアイデア等を考え、今後の地域づくりに活かすために、参加相互の意見交換、交流を行います。

日時：令和元年10月25日（金）13:30～17:00（開場13:00）

場所：福島市土湯温泉 まちおこしセンター『湯楽座』
（福島県福島市土湯温泉町字下ノ町22-1）

プログラム

■ 第1部 事例発表会（13:35～14:35）

- ①『土湯温泉復興再生について』
加藤 勝一氏（土湯温泉町地区まちづくり協議会 会長）
- ②『着地型観光と地域づくり』
野村 明祥氏（伊達市地域おこし支援員 月舘町糠田担当）
- ③『地域づくり活動支援制度について』
鈴木 貴史氏（福島県まちづくり区画整理協会 企画課長）

■ 第2部 情報交換会（14:35～16:00）

■ 第2部終了後 現場見学会（16:30～17:00）

※プログラムは変更になる場合がございます

参加申込書

申込締切：令和元年10月17日（木）

氏名	所属団体	連絡先	
		電話番号	メールアドレス

※ 上記、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、ファックス又はEメールで送付願います。

※ 個人情報は、当交流会の運営のために使用し、その他の用途には使用しません。

主催 福島県

共催 公益財団法人 福島県まちづくり区画整理協会

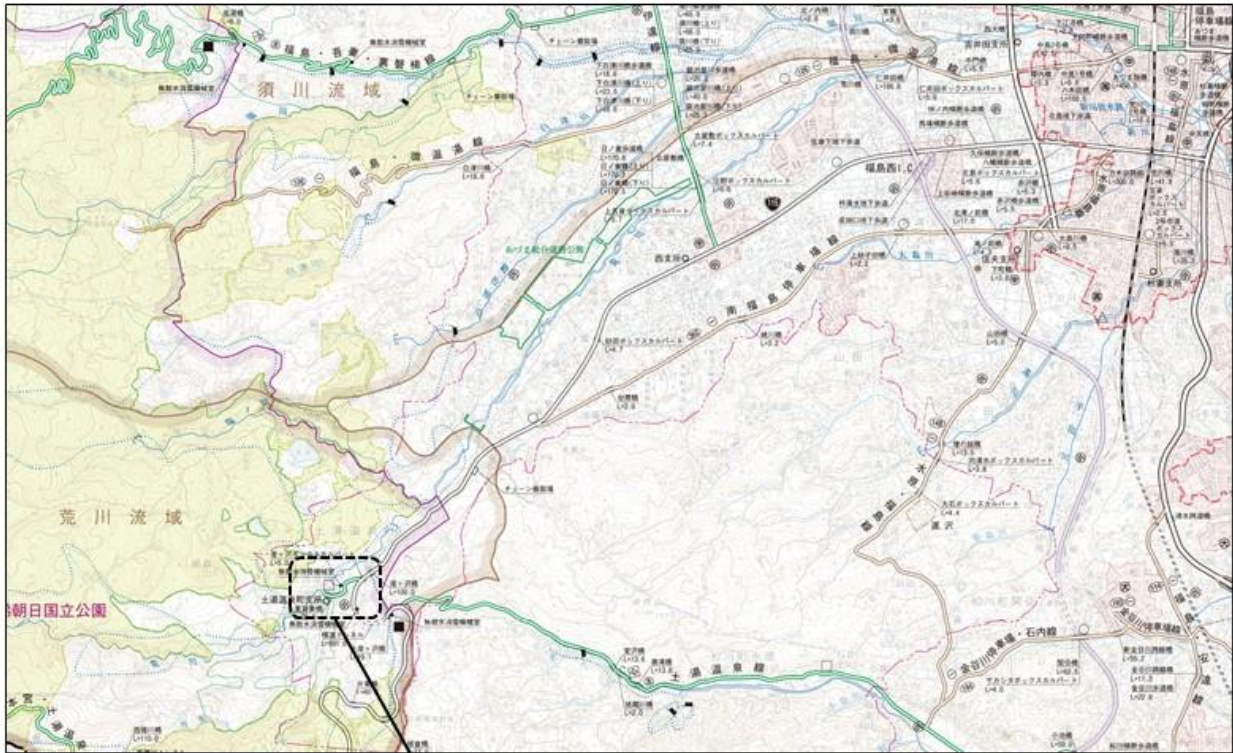
申込先・お問合わせ先 福島県土木部まちづくり推進課 岡部

TEL 024-521-7511 FAX 024-521-7956

Eメール machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

交流会会場

場所：福島市土湯温泉まちおこしセンター『湯楽座』
(福島市土湯温泉町字下ノ町22-1)



福島市土湯温泉まちおこしセンター
『湯楽座』



福島市土湯温泉観光交流センター
『湯愛舞台』



車でお越しの方は、福島市土湯温泉観光交流センター『湯愛舞台』をご利用願います。
(他の施設の駐車場利用はご遠慮願います)

入場
無料

地域づくり交流会（会津地方）



県内各地域で地域づくりに取り組む住民組織や市町村・県の職員等が課題を話し合い、取り組みのアイデア等を考え、今後の地域づくりに活かすために、参加相互の意見交換、交流を行います。

日時：令和元年**10月31日**（木）13:30～17:00（開場13:00）

場所：三島町交流センター『山びこ』
（福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418）
プログラム

■ 第1部 事例発表会（13:35～14:35）

- ①『奥会津-霧幻峡の渡し-』
小沼 優氏（金山町観光物産協会 事務局長）
- ②『実際に移住してわかった、今後目指すべきまちづくりとは・・・』
橋本 浩寿氏（株式会社SATORU 代表取締役）
- ③『地域づくり活動支援制度について』
鈴木 貴史氏（福島県まちづくり区画整理協会 企画課長）

■ 第2部 情報交換会（14:35～16:00）

■ 第2部終了後 現場見学会（16:30～17:00）

※プログラムは変更になることがございます

参加申込書

申込締切：令和元年10月23日（水）

氏名	所属団体	連絡先	
		電話番号	メールアドレス

- ※ 上記、参加申込書に必要事項をご記入のうえ、ファックス又はEメールで送付願います。
- ※ 個人情報は、当交流会の運営のために使用し、その他の用途には使用しません。

主催 福島県

共催 公益財団法人 福島県まちづくり区画整理協会

申込先・お問合わせ先 福島県土木部まちづくり推進課 岡部

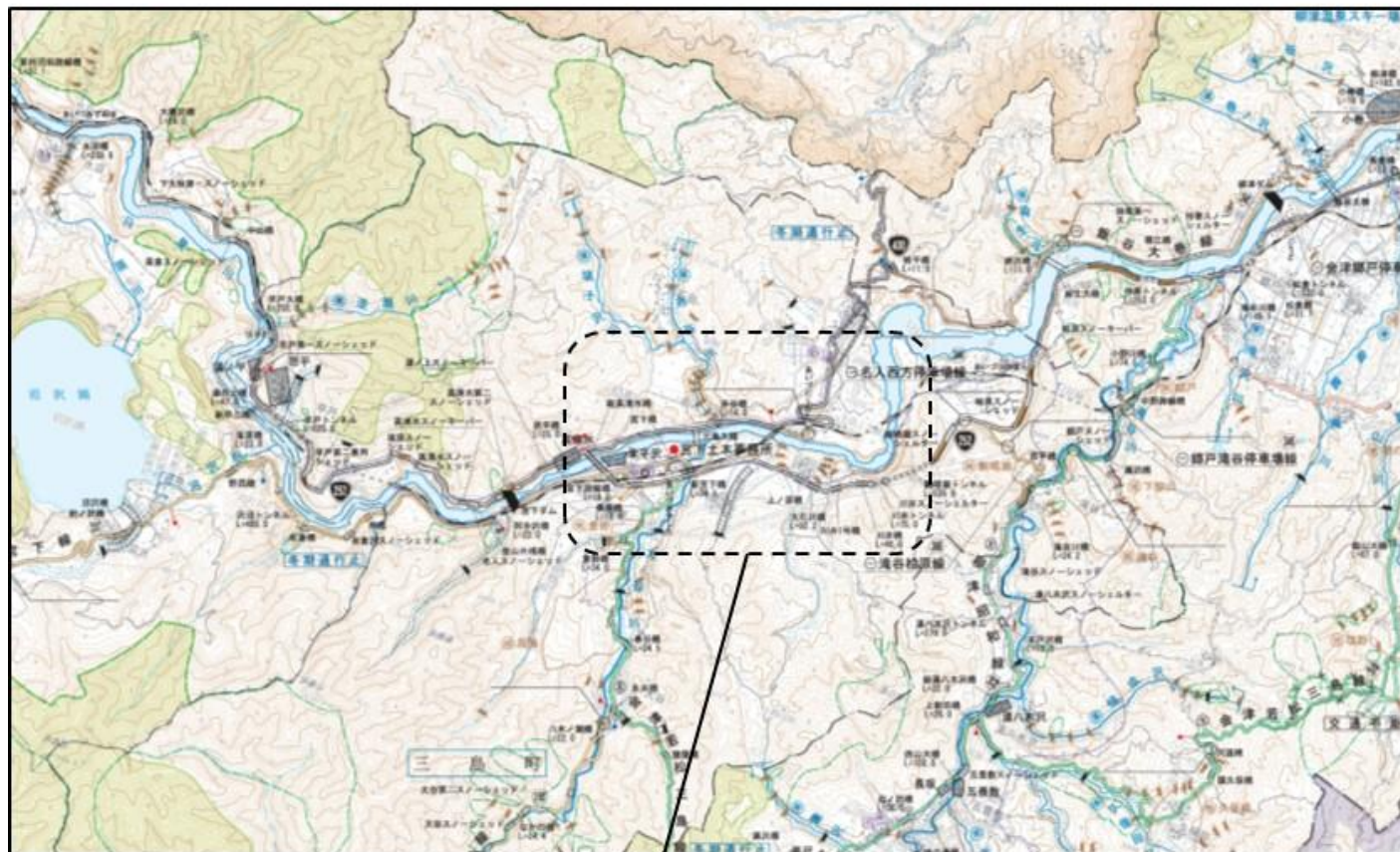
TEL 024-521-7511 FAX 024-521-7956

Eメール machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

交流会会場

場所：三島町交流センター『山びこ』

(福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418)



車でお越しの方は、三島町交流センター『山びこ』駐車場をご利用願います。
(他の施設の駐車場利用はご遠慮願います)